

岐阜高専、交流協定締結のマレーシア工科大学からの 双方向受入インターンシップ修了式を挙

平成 28 年 7 月 21 日及び 9 月 2 日に、岐阜高専は、2 週間にわたって受入れたマレーシア工科大学の大学院生 3 名のインターンシップ修了式を行った。

岐阜高専は、平成 24 年 7 月にマレーシア工科大学（ジョホールバルキャンパス）と包括的な交流協定を結んで以来、教員および学生の双方向交流を行っている。平成 28 年度も JASSO の支援を受けて、約 2 週間（7 月 15 日～7 月 26 日、8 月 22 日～9 月 2 日）、3 名の大学院生を岐阜高専機械工学科、電子制御工学科及び建築学科の研究室で受け入れ、研究室の学生と共同でミニ研究等を行った。研究以外の面でも、マレーシア工科大学での学生生活などの紹介も行い、8 月から 9 月に派遣予定の専攻科生にとってもよい事前交流の機会となった。この双方向協定型の短期交換プログラムは、JASSO の短期研修・研究型の受入れ支援により初めて可能となった。岐阜高専学生・教員の国際化・グローバル人材育成に大いに寄与している。修了式では、懇談の後、指導教員の立会いの下に、伊藤義人校長から学生に修了証書が手渡された。



マレーシア工科大学の大学院生と伊藤校長（中央）、指導教員との
インターンシップ修了式後の記念写真（9 月 2 日）